

ふたたび「愚痴聞き地蔵尊」

名駅から東の方へ5分ほど歩くと、桂芳院という寺がある。ビルの谷間にある小さな寺であり、気をつけていないと通り過ぎてしまう。このレポートにも何回か書いたが、

この寺の境内の片隅に、大きな耳をした「愚痴聞き地蔵尊」というお地蔵さんが、愚痴を聞くために待っ



ていてくれる。前に座って、日頃の愚痴を聞いてもらおうと「ストレス解消」になるかもしれない。

「愚痴聞き地蔵尊」を知ったのが、昨年11月放映のNHK「ホリデーにつぼん」である。録画していたビデオを久しぶりに見てみた。番組で愚痴を聞いてもらいに来る人たちを紹介しているが、その一人が寺の前にある予備校の国語の教師である。予備校の授業、教師の狭い部屋での弁当風景、成績が上がらない生徒の親からの苦情の電話などが映し出される。

この予備校は「明聖アカデミー」であるが、倒産してしまい、入口には板が打ち付けられていた。生徒た



ちに巨額の授業料など返済されないと報じられていた。番組で紹介されていた予備校の風景からして、倒産しても不思議でない感じではあった。お地蔵さんに愚痴を聞いてもらっていた、頼りなさそうな国語の教師はどうなったか気になる。

桂芳院のすぐ近くで大規模な再開発が行われている。名古屋市交通局の跡地開発だが、超高層タワーマンションなどが建設されつつある。「愚痴聞き地蔵尊」はこんな再開発・都市改造にたいして愚痴をこぼすのであろうか。 (2007年9月16日 記)